

オズマピーアール、「PR アワードグランプリ 2019」でグランプリ受賞 衰退していた団地の未来を「住民との共創」で変えていく 大阪府住宅供給公社との共同エントリー「茶山台団地」再生プロジェクトが選出

株式会社オズマピーアール(本社:千代田区紀尾井町、代表取締役:八田 祥孝)は、2017年度から広報支援業務を行っている大阪府住宅供給公社(本社:大阪市中央区)が泉北ニュータウン内「茶山台団地」(堺市南区)で展開している『「住民との共創」で、衰退していた団地の未来を変えていく「茶山台団地」再生プロジェクト』で、「PR アワードグランプリ 2019」(主催:公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会)の最高賞であるグランプリを受賞しましたのでお知らせいたします。



「PR アワードグランプリ 2019」は、優れた PR事例を選考・顕彰することで、PR の普及と発展に寄与することを目的に公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会が毎年実施しているアワードで、今回で 20 回目の開催となり、今年度は 75 エントリーがありました。

本プロジェクトのグランプリ受賞について、井口 理審査員長は「日本の少子化、高齢化という継続的な社会課題の中で、衰退していく団地の存続というテーマに取り組んだものです。その中でマルチステークホルダーを見据えつつ、住民自体をインターナル活動に巻き込み、活性化していくという新たな仕組みを作り上げました。団地の規制などを取り払い、これまでにないアイデアにチャレンジしたこと、また今後はさらに周辺エリアを巻き込み展開していくという継続性・発展性も見られました。これは同じ悩みを抱える同様の地域へのモデルケースとなりうる事例と言えます。」とコメント*を発表しています。

※日本パブリックリレーションズ協会ニュースリリースより

■「PR アワードグランプリ 2019」 受賞内容

受賞名: グランプリ

プロジェクト名: 『「住民との共創」で、衰退していた団地の未来を変えていく。「茶山台団地」再生プロジェクト』

エントリー会社: 大阪府住宅供給公社 / 株式会社オズマピーアール

事業主体: 大阪府住宅供給公社

応募カテゴリー: コーポレート・コミュニケーション

「PR アワードグランプリ 2019」の詳細については、公式サイトをご覧ください <https://prsj.or.jp/pr-award/>

■「住民との共創」で、衰退していた団地の未来を変えていく。 「茶山台団地」再生プロジェクトについて



舞台である茶山台団地では、入居開始から約50年が経過し、入居率の減少、住民の高齢化、コミュニティの担い手不足などの課題がありました。そこで、「茶山台団地」再生プロジェクトでは、住民を「団地再生にともに取り組むパートナー」として捉え、3つの視点【1.共創型インナーリレーション 2.独自の団地再生の方程式 3.先駆的事例としての話題化】から、コミュニティスペースの設置や住戸リノベーション、住戸の利便施設転用などに取り組むことで、若年層の増加や入居率の改善を実現し、団地に活気が戻ってきました。

「茶山台団地」再生プロジェクトの詳細については、下記資料をご覧ください。

大阪府住宅供給公社HP: https://www.osaka-kousha.or.jp/x-whatsnew/pdf/Danchi_Project.pdf

＜ 本件に関するお問い合わせ ＞
株式会社オズマピーアール 広報室 山口知賢
E-mail: t_yamaguchi@ozma.co.jp / 電話: 03-4531-0201